

令和4年度図書館協議会

日時：令和5年3月16日（木） 午後3時～午後4時10分まで

会場：阿賀野市立図書館 視聴覚室

出席者：

- ・（委員長）長谷川小百合
- ・（副委員長）浮田小百合
- ・（委員）大内高德、伊藤道秋、高沢芳子、中島優子

- ・ 教育長 神田武司
- ・（事務局）生涯学習課長 羽田正佳、図書館係長 岩城美千代、主事 石田愛香音
- ・（傍聴者）0人

議題：議題（公開）

- （1）令和4年度図書館統計の実績報告について
 - （2）令和4年度図書館事業実施報告について
 - （3）令和5年度図書館事業計画（案）について
- その他

○生涯学習課長

ご案内の時間より早いようですけれども、A委員が若干遅れてくるという連絡をいただいております。予定された皆さんお集まりですので、始めさせていただきたいと思います。

本日はお忙しい中ご出席いただきまして大変ありがとうございました。これより阿賀野市図書館協議会を開催させていただきたいと思います。

本日の会議は、ただいまから、一応16時30分までのめどで、1時間半程度を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。今ほど申し上げましたように、A委員、若干遅れてきますし、欠席の連絡をB委員とC委員からいただいておりますので、今日は6名という形になろうかと思いますがよろしくお願いしたいと思います。

はじめにお願いがございます。会議録作成のために録音させていただくということで、お手元のあたりに見えない機械があるかと思いますが、市の方で用意した自動的に会議録に起こしてくれるシステムでございます。この関係がありますので、発言が重ならないように話していただくと大変助かります。よろしくお願いしたいと思います。なお、これによって録音させていただいたものを、私どもの方で手直した会議録につきましては、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に該当するものでございますので、阿賀野市HP等で公開させていただくこととなりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

今現在傍聴者はいらっしゃいませんので、このまま会議を進めさせていただきたいと思います。

それでは初めに、教育長からご挨拶を申し上げます。

○教育長

皆さん、御免ください。大変お世話になっております。随分暖かくなって春らしく、桜も恋しくなってきました。マスクも13日から個人の判断ということですが、私はまだちょっと慣れないので、いつものようにマスクをして今日は来てますが、それぞれ場所に合わせて選択していくということで、だんだんいい方向に向かっていけばなと思っていますところであります。皆様方には本日は、大変ご多用のところ、令和4年度の図書館協議会お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

図書館協議会は、図書館法第14条に基づく協議会でありまして、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館方針について、館長に対して意見を述べる機会でございます。本来であれば、頻繁に皆様の意見をお伺いして、市民の声を図書館運営に反映させなければいけないところでございますが、今年度もまた、年度末になってようやく開催となりました。大変申し訳ございません。

本日の議題は、令和4年度の統計実績と、事業報告、その上で、令和5年度の事業計画案をご審議いただくということになっておりますが、令和5年度は、図書館パワーアップ事業の最終年に当たります。LEDライトにしたり、間仕切りをしたり、たくさん児童書を充実させるなど、手厚く予算配分をいただいておりますが、児童書の充実を引き続いてさらに、読書環境の整備等を計画しているようでございます。

阿賀野市としては昨年同様図書館に力を入れていく予定でございますので、忌憚のない意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが私のご挨拶にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○生涯学習課長

はい、ありがとうございました。それでは、図書館協議会委員の皆様の任期が昨年の12月で満了となったことから、今回新たに2人の方をお願いし、また、6人の方に再任をお願いし、皆さんからお受けいただいたという状況でございます。本当にありがとうございました。

今回初めて顔を合わせる方もいらっしゃるかと思いますので、初めに自己紹介をお願いしたいと思います。

(事務局紹介)

○生涯学習課長

それでは委員の皆さんからも順番にお願いしたいと思います。

(委員紹介)

○生涯学習課長

皆様ありがとうございました。これから任期2年間となります、よろしくお願いいたします。それでは早速ではございますけれども、次第の委員長副委員長の選出

に移らせていただきたいと思います。

阿賀野市立図書館協議会規則第二条第2項の定めがございまして、委員長、副委員長につきましては、委員の皆様からの互選ということになっております。私がという方もしくは、この方がよろしいのではないかとすることがありましたら挙手にてお願いしたいのですが、いかがでございましょうか。

それでは事務局の方で腹案がございまして、発表させていただきたいと思っております。よろしければ事務局案として委員長にD委員を事務局として推薦させていただきたいと思っております。

皆様からご承諾いただければと思っておりますがよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

それではD委員におかれましては、委員長になります但よろしく願いしたいと思います。次に副委員長でございましてけれども、事務局案としましては本日遅れての出席ということでまたお見えになっておりませんが、A委員をご提案させていただきたいと考えておりました。

皆様にお諮りしたいと思います。ありがとうございました。

A委員には、また来られた時に、自己紹介を兼ねてご挨拶をいただきたいと思います。それでは委員長におかれましては、委員長席の方にご移動をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

最初に申し上げればよかったですが、この会議録を記録するシステムの関係で、本日マイクを用意しておりませんので、声をちょっと張っていただければと思いますが、よろしく願いいたします。

それでは早速ではございますが、委員長から一言ご挨拶をちょうだいしたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員長

只今委員長に選出をしていただきました。改めましてよろしく願いいたします。不慣れなもので何もわからない部分があると思いますが、皆様ご協力をお願いいたします。

○生涯学習課長

ありがとうございました。先ほども申し上げましたが、委員長に関しましても、今回選出させていただきますので、委員の皆様の任期と同じ、令和6年の10月31日まで、その任をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。それでは阿賀野市立図書館協議会規則第二条第3項の規定に基づき、委員長に議長をお願いし、議事進行についてもあわせてお願いいたします。委員長よろしく願いいたします。

○委員長

はい。それでは会議次第に基づきまして、議題に移ります。

議題1、令和4年度図書館統計見込み及び事業報告を事務局から説明をお願いします。

事務局 （1）令和4年度図書館統計見込み及び事業報告 説明

○委員長

ありがとうございました。今の議題につきまして、質疑ご意見等ありますでしょ

うか。ありましたら挙手にてお願いいたします。

○委員

安田図書館と笹神図書館で電算化して操作が難しいから利用者が減ったというのですが、それはどのような操作ですか。

○事務局

利用者の方がバーコードを読み取るという作業になります。

○委員

それは職員の方がやってくれるのではないですか。

○事務局

市立図書館では職員がやりますけれども、安田笹神両図書館ではそれを全部利用者の方がする、要は無人化ということになります。

○委員

安田と笹神は一応その建物で働いてる人は見守ってるけれども、借りる人は自分でやるということですか。

○事務局

安田笹神とも、公民館の業務と兼務しておりまして、人員が少ないということもありますので、今回のそういう無人化といいますか、電算化となりました。

○委員

初めて聞きました。どんな操作かわからなかったので質問しました、今わかりました。ありがとうございます。

○事務局

周知不足で申し訳ありません。

○委員長

他にございますでしょうか。それでは、なければ次の議題に進めさせていただきたいと思います。次に議題2 令和5年度事業計画案について説明をお願いいたします。

事務局 （2）令和5年度事業計画案 説明

○委員長

ありがとうございました。それでは質疑応答、ご意見ご提言等ありましたら挙手にてお願いいたします。よろしいでしょうか。

○委員

はい。

○委員長

お願いします。

○委員

この図書館のパワーアップ事業で、児童書の充実を中心とした親子に対するいろいろな話がありますが、利用者を増やすことが目標ではないにしても、この児童書の充実というのが、阿賀野市の図書館の特徴なのか、他の図書館と比べて低いから充実しなきゃならんのかとか。そのあたりの、今阿賀野市の実情として、我々も知っておきたいので、他のところに誇るようなそこが特徴なのか、欠落してるのかと

いう辺りをちょっと知りたいなと思います。

○事務局

今のご質問にお答えしますと、まず児童書の充実ですが、決して他の図書館と比べて児童書が少ないから、充実ということを目指してたのではなく、他の図書館と同程度といいますか、それはパワーアップ事業以前では、他の図書館と同程度の児童書を、所蔵しております。今回、児童書の充実ということであげましたのは、特徴として突出したものを上げたいということで児童書の充実ということを目指にいたしました。ちょっとそこまではなかなか及ばないところがありますけれども。

○委員

予算的にもね。だから要するに総取りかえとか、そういうところでほとんど終わってしまうわけで、なかなか希望通りにはいかない。

○事務局

そうですね。施設自体も古いといいますか。

○生涯学習課長

すいません。ただいまA委員が到着されましたので、まだ質疑の途中でございませけれども、ここでA委員から簡単に結構でございますので自己紹介と、副委員長に就任されたご挨拶をお願いしたいと思います。

○副委員長

就任しまして初日から遅れまして大変申し訳ございません。この度、副委員長に就任いたしました。何分不慣れですので、至らないところがあるかと思いますが、委員長のサポートをして、会がうまく回るように努めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○生涯学習課長

ありがとうございます。一応引き続き、次から再開していただければと思います。よろしくお願いします。

○委員長

それではE委員、ご意見等ございましたら、どうぞ。

○委員

予約をパソコンとか携帯からできるという話で、そうすると、本が入りましたよという連絡が携帯にくるのですか。

○事務局

メールでお知らせするようになります。ぜひご利用ください。

○委員長

他にはございますでしょうか。

○委員

いろいろな子供向けの事業を図書館でされていて。いろいろやってるんだなって感心して見ていました。そこで一つ提案がありまして、今考えていることがあるのですが、読み聞かせとかももちろんとても大事ですけど、子どもたちが絵本など本に興味を持ってもらうものの一つとして。子どものうち特に小さい子の話は、「そしてね、そしてね」っていうように次々と話が広がって行って、話の終わりが無い、そんな子どもが多い。絵本でも『そしたらそしたら』という絵本があるんですが、「そこにこれ出てきたら、そしたらお母さんが来たの」とか、「そしたらここ行ったらお魚が泳いでたの」とか。お話の発展は、こうあらねばならないとこと

ではなく、どう発展しようが、子どもたちの想像するままにお話を作っていく。子どもが周りの人と一緒に話を作っていくというのがとても楽しくて。周りの大人が、「そしてそれからどうなったの」という声がけをすると子供がどんどん話を作っていくって、それを話だけでもいいですし、「そこにお花が咲いてたの」と言ったらお花の絵を書いてもいいし、次のページでは、「お父さんが来たの」といってそこにお父さん書いたりして。そういうふうにして、その子なりの一つ絵本ができるんですね。

そこに字を書ける子は書いてもいいでしょうし、ちっちゃい子であれば字なんかなくてもいいのですけどね。そんなふうにして、最終的には、「絵本になったね、すごいね」という感じで、子どもが題名をつけ、子どもの名前が作者に記載されるという、そんな形で絵本を作ってみるのもとても面白いかなと。

実際やったことがあります。子どもたちが、興味を持ってそのまもうちに持って帰ってもいいでしょうし、何かの機会に子どもたちの作った絵本の作品展みたいな感じで、飾って誰でも見られるような、そんなことをやっても、面白いかなと思っています。

○委員長

ありがとうございます。

○事務局

ありがとうございます。提案として、ぜひ参考にさせていただきたいと思ひますし、読み聞かせ以外にも今おっしゃったような、イベントとして考えていきたいと思ひますので、もし何かありましたら、ご意見ください。

○委員

もう一ついいですか。小学生の孫が図書館に来て10冊借りて返してはまた10冊借りて返して、とよく借りているのですが、自分で10冊持っているを持ちきれず、床に本落として本痛めたりすることがあります。選んだ本を半分親に持ってもらうというのももちろんありますが、10冊もカウンターまで持っていくと本で重いので、入れ物みたいな持って歩ける籠のようなものがあると便利かなと思っています。

○委員長

貸出かごですよ。

○委員

最初の頃は手提げ袋があつて、それは貸してくださるときに入れてくださっていたのですが、時々残っていたりして使つてらっしゃる方がいますよね、まだ。

○事務局

そうですね。一番最初の頃は、そういった、かばんがありましたけれども、今は使っておりませんし、おっしゃるように入れるようなものもないので、他の図書館などでは、カートのようなものを設置している図書館もあります。

○委員

県立図書館はありますね。

○事務局

予算の関係もあるので、すぐにどうこうというところではないのですが、その都度予算要求の段階で提案していきたいと思ひます。

○委員

これまでも何度か借りにいったときに、要望を図書館の方でしてきたとは言つて

いましたけれども。

○事務局

すぐには対応できず申し訳ありません。

○委員

お願いいたします。

○委員長

それでは皆さんありがとうございました。次に進めさせていただきます。その他にありますが、委員の皆様はじめ、事務局より何かございますでしょうか。

○委員

いいですか。

○委員長

お願いします。

○委員

児童書の絵本は薄くてそれを棚に立てて並べられると、年寄りには字が見えないのです。やっぱり絵本の表紙を並べてもらおうと、何か探しているのではなくただ見てるだけなのですが、この絵はおもしろそうと手にとることもあります。この図書館はその欄が狭いですよ。場所をとるからだと思いますが、大人がちょっと児童書を眺めてみたいなあと思って見たときに、背表紙だけ並んでいると、ただ眺めているだけでは興味がひかない。カウンターで「何とかさんの本があると思うのですが」というと取り出してくれるのですが、やっぱり見て楽しむということがない。最近いろいろなところで子ども図書館を聞きますが、新しく開館した図書館へいったら、表紙がならべてあるのです。ここは何々さんの棚というと、1冊置いてあったりするんですよ。それで手に取るっていうのが結構あります。紹介してあるのでとてもいいんです。

そういうのがもうちょっとあったらいいなあと思うのが一つと、それから一般図書で、直木賞候補や芥川賞候補に選ばれた本が棚に並べてあって、とてもいいと思いますが、本屋さんのポップみたいなものを書いていただくと、もっと手に取りやすいかなと思います。ヘビーユーザーと言っても読む本が決まってきます。読む本と作者が決まってしまう、違う作者を探そうと、書架を行き来するのですが、そんな時にテーブルに色々な本が並べてあると、ちょっとこれ読んでみようかなと、範囲が広がるのがいいと思いますので、本屋さんのポップのような本の紹介をお願いします。それから郷土の資料で、阿賀野市で発掘された遺跡関係の報告書は、図書館にありますよね。今年度分の報告書などをまとめて展示していただくと、いいのですが。2・3年前、遮光器土偶が出ましたけど、現在どこにありますか。

○生涯学習課長

現物は、安田地区の旧山手小学校が、現在阿賀野市の歴史民俗資料館になっていますけれども、そこに埋蔵文化財関係を展示しております。今休館中で4月からになりますけど。

○委員

そういうトピックスがあれば、今年度のこういう調査報告が出ましたというアナウンスがあると、そんな情報を見つけて、この土器はこんな小さかったのとか思っ
て見る、そういう楽しみのために、図書館でもインフォメーションがあったほうが
いいかなと思いました。

○事務局

貴重な意見ありがとうございます。いろいろお話していただいた中で、興味を持

ってもらえるような配置にしたいと思っておりますが、絵本は表紙が分かるように面出しという並べ方をしている、コーナーを広く設けておりますけれども、児童書と一般書も同様に、全部背表紙しか見えません。表紙が見えるように、書架に置けばいいのですが、所蔵数が年々増えていく関係で、表紙を向けることで面積が取られてしまうため、どうしても蔵書数との兼ね合いで、スペースを設けることが非常に難しいところではあります。ただおっしゃるようなところは、すでに指摘を受けており、古い本を書庫に下げるとか、そういうところで対応しているのですが、もう少しそのあたりを進めていきたいと思います。

あと郷土の報告や記録などは、薄い報告書なため書架に並べると、もうその題名さえわからないような感じになってしまいます。そういうものをお探しの方はカウンターに来ていただくとか、館内にありますOPACというパソコンで検索していただくということで対応していますが、E委員さんがおっしゃったように、トピックスがあった場合は、やはりコーナーを設けて、展示するようにしていきたいと思います。

○委員

次に言うのは図書館の事業ではないとは思いますが、幼児には読み聞かせがあっても、年寄りにはないですね。ラジオの深夜便で、難しくて1人ではとても読めない本を、内容を考えずに音読する会というのがあります。大人が集まって声を出して読む、声を出して読むとぼけに効くということで、難しい本を輪読するという会をやっている。ちょっと真似てみまして、難しい経済書は読んでも全然わからないし1人だからすぐ飽きるのですが、わかったのは世界の争いは資本家と労働者の取り分の争いだと書いてあり、本当だなあと、それは感心しましたがけれども、そこから先は進みませんでした。大勢で読むといいのだとは思いますが、誰かが音頭を取るというのも難しいし、図書館がそういう人を募集しても人は集まらないだろうと思うので、別にやってくださいとは言わないけれど、年寄りにはいいかなと思います。子どもだけじゃなくて年寄りも、わからない本を声に出して読むと、そうかと納得することもあると思います。

○教育長

認知症予防になりますね。

○委員

そうですね、そのための音読です。あと、図書館の経済や法律の棚に行くと誰も読まない本がいっぱいあると思い、たまに1冊出して目次だけ音読したり、そういうことをしています。

○事務局

ありがとうございました。おっしゃるように、幼児向けとか、小さい子ども向けの読み聞かせは、今話しましたようにやっていますが、そういった年齢層向けのものはほぼないというような状況です。

○委員

そうですね。去年も、紙芝居を買ってくださいという意見がありましたよね。

○事務局

高齢者向けの紙芝居は今年度購入いたしました。

○委員

そういう人たちに対しても、ただ読んで聞かせるだけでなくみんなで何か読むというの、ひとつの流れかなと思う。

○事務局

参考意見として承ります。ご意見ありがとうございます。

○委員

図書館の事業には合わないと思ってますけど。

○事務局

そんなことはないと思います。

○委員長

F委員、お願いします。

○委員

今の話題に関連して、別な市町村の話ですが、子どもには読み聞かせという言葉を使っていますが、大人には朗読とか音読とかね、そういう言葉で今、活躍しているサークルがあるのですね。結構人気があり、朗読とか音読の講習を、わざわざ遠くから新潟に行って習っている人の話をよく聞くものですから。それで誰々さんの朗読を聞いてすごく感動したとかね。そういう分野というのは、お年寄りに受ける時代ものを朗読でやると、意外と人が集められるのかなとか。人集めの目的じゃないかもしれませんが、そういうことを今お聞きして、私も別な情報であったものですから、面白いなと思います。

○委員長

阿賀野市には音読はないのですか。市報が音声ガイドで聞けるということを踏まえて聞くのですが。

○委員

音読をやっているグループはあるんですよ。阿賀野市にはないのですか

○委員長

私、読み聞かせをやってるので、広報の音声ガイドをしてらっしゃる方に一回、会ったことがあるんです。市報を音声でお伝えするというボランティアをやってみないかと言われたのですが、私にはちょっと合わなかったんで、やらなかったのですが、阿賀野市はそういう活動されてる方はいないのでしょうか。

○事務局

広報の音声ガイドはありますが、そのほかにそういったグループがあるのかというと、図書館の方では把握しておりません。

○委員長

そうですね、図書館の管轄外ですね。

○委員

頼まれれば読み聞かせますよというものはなかったですか。図書館の窓口で。視覚障害の方が、朗読を頼むとその本を読んで聞かせますよという部屋がなかったですか。

○副委員長

私がいたときもそういった要望はありませんでした。

○委員長

周知していただくことが大切かと思います。他には何かございますでしょうか。

G委員、お願いいたします。

○委員

事業の中で行っていたいている例年の昼のおはなし会、神山小学校でございすけれども、コロナの影響で、この学年では無理かなというような場合には急遽お断わりするような失礼なこともあったのですが、子供たちも楽しく過ごしてきました、その読み聞かせを楽しみにしている子どもたちがいまして、秋の読書週間全国

読書週間時など、教員もそれぞれ手分けをして各教室に行って学年ごとに読み聞かせをしたりするのですが、それに比べても、専門家というかボランティアにおいても専門の方々から読み聞かせていただくとやっぱり全然子どもたちの受けは違うようで、本当に子どもたちが本に興味を持つ、いいきっかけになってると思います。

ぜひ今年度もまたよろしく願いしたいなと思っております。ありがとうございます。

それから事業の中には出てこないのですが、私、市の学校教員の研修会の図書館協議会の事務局をしているのですが、そちらの方には各校の図書館主任が集まった時に、図書館から、学校の図書館と公立図書館の連携についてのご講演いただくとともに、今回はこの図書館にコロナようやく少し収まってきたということで、この図書館を見学させていただいたのは学校の図書館を運営していく上での参考になりました。ありがとうございます。

うちの学校でも子どもたちは図書館に行かなくて、例えばちょっと読むときは教室にある学級文庫をよく利用するんですね。それを図書館の本と定期的に更新して、子どもたちがいつでも読めるところに、読みたい本が置いてあるような工夫をしていくのが大事だなというあたりは、先ほどの話でこう見やすいように並べておくとかというあたりと通じるところがあるのかなと思っています。

また今後も、図書館の運営についてご助言いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長

学校は6学級以上でしたっけ。司書教諭を置かなきゃいけないのですよ。12学級以上でしたっけ。

○副委員長

12ですね。

○教育長

ところがなかなか、その前にやらなきゃいけないことが山積みになって、図書館運営が二の次になりがちなんじゃないかと。

○委員

専門の学校図書館司書がいた学校に私もいたこともありますが、やはり全然違って、その分野の書類を集めてすぐ教員に補助してくれたり、図書館の本の並べ方をいろいろ工夫しているとか。本当やっぱり効果がすごくあるので、ぜひそういう人材が必要ですね。

○教育長

学校図書館の学校の先生方相手でも、対司書教諭さんでもいいので、図書館運営についての指導をちょっとしてもらおうと学校図書館も変わっていくのかなと思いますね。

○副委員長

別個に司書の方がいると全然違いますね。司書教諭ですと、やっぱり他に学校のことをやりながらということになるので、なかなか片手間でやるのは難しいことです。独立して、それに携わる方がいらっしゃるかどうかなというのは、学校図書館が改善していく上でも必要なのかなと思いますね。熱心にやられている先生がいらっしゃる学校ももちろんありますが、なかなか手が回らないという学校ですと、図書館が動いていないなという空気感になっていたりしますので、やっぱり大事だと思いますね。

○委員

同感です。

○委員長

ぜひお願いしたいと思います。それでは皆様よろしいでしょうか。ご意見が他にないようでしたら、これで、令和4年度阿賀野市図書館協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

○生涯学習課長

それでは長時間に渡り、大変ありがとうございました。本日も皆さん方からいろいろご意見、ご提案をいただきました。

H委員からは、子どもたちを絵本の作者にという提案をちょうだいいたしました。ですね、本の入れ物に関する要望もちょうだいいたしました。

F委員からは市の特徴がなかなか見いだせない中、図書館と児童コーナーの特徴化に対する位置付けについて紹介いただきました。図書館のあり方ということで受けとめさせていただきたいと思います。

あとE委員からは展示に関するご提案をいろいろいただきましたし、子供向けの展示方法、大人向けのポップや郷土資料の報告書等の提案をいただきました。ありがとうございました。

あとG先生からは、読み聞かせに関する学校の子どもたちの反応等の情報をいただきました。大変ありがとうございました。

また音読、読み聞かせという関係の情報もいただきました。

これらのいただいた情報を我々事務局といたしましても事業の推進に活用させていただきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

日が長くなったとは言いますが、夕暮れでございますので、お帰りの際も気をつけていただいて、また当事業をご協力いただきますようお願い申し上げまして、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。